

身近な地質スポット

愛知県名古屋市守山区／「東谷山」

今回は、名古屋市の東端に位置する東谷山を紹介します。

東谷山は、愛知県名古屋市守山区と瀬戸市とに跨り、標高 198m で名古屋市最高峰の山です。

ちなみに、名古屋駅にある中部地方で一番高い超高層ビル「ミッドランドスクエア」の高さは、247m です。



写真1 東谷山（西側、大久手池より望む）

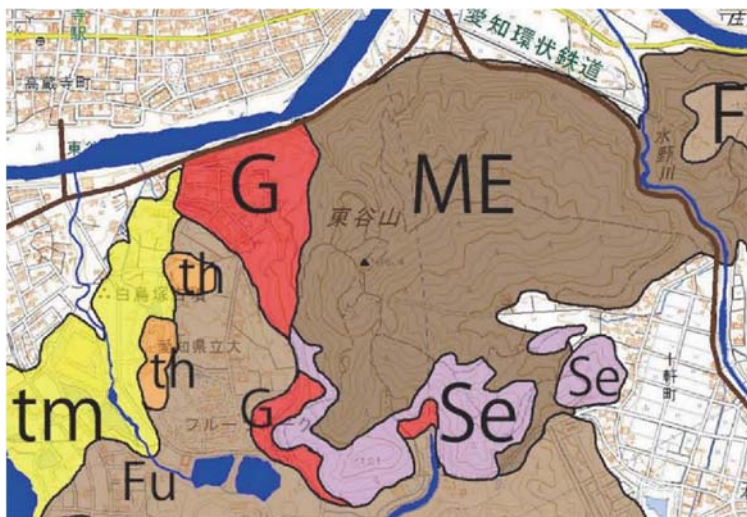


写真2 東谷山と愛知用水

東谷山は古来より信仰を集めた霊山であり、山頂には熱田神宮の奥の院である、尾張戸神社があります。また、山内、山麓には尾張戸神社古墳、白鳥塚古墳など、上志段味古墳群と称される尾張地区最大規模の古墳群が存在します。

この地にはヤマトタケル伝説があります。伊吹山の賊を征伐に行く途中、ヤマトタケルは蛇に足を噛まれ、傷口を川で洗っているところに、一羽の白鳥が現れました。ヤマトタケルはその白鳥に尾張まで連れて行ってほしいと頼み、東谷山の麓に着いたところで白鳥は力尽き、死んでしまいました。その場所に白鳥の墓を建てたと伝わり、それが白鳥塚古墳です。

東谷山周辺の地質は、図1に示すとおり、山塊の大半を占め基盤となる美濃帯、美濃帯に熱変成を与え西山麓に露頭する花崗岩、南・東山麓に露頭が見られる瀬戸陶土層、山麓より南東に広く連なる矢田川累層、低地との境界に狭く分布する高位・中位段丘堆積物よりなり、河川沿いには河床堆積物と、名古屋地域に分布する多くの地質体が見られる貴重な地域です。



凡例

ME : 美濃帯(ホルンフェルス)

G : 花崗閃緑岩

Se : 瀬戸陶土層

Fu : 矢田川累層

th : 高位段丘堆積物

tm : 中位段丘堆積物

図1 東谷山周辺の地質図（出典：名古屋地学 80 号/名古屋市守山区・尾張旭市の地質）

写真2に示すように、東谷山山頂の東側、地下深くには、尾張丘陵、知多半島に工業用水、農業用水、上水道用水を供給する愛知用水が整備され、南側山麓で地表部に出現し、開水路となります。

東谷山をぐるりと巡って文化と地質が学べ、山頂で伝説に触れ、名古屋市を見下ろすことができます。

余談ですが、
この地質スポットの近くにはこんなお店がありました。
らーめん「なごみや」高蔵寺店



花崗岩露頭/風化作用により軟質化



白鳥塚古墳/墳丘復元図



山頂：鷹張戸神社



美濃帯露頭

らーめん なごみや 高蔵寺店



場 所：愛知県春日井市大留町 708
営業時間：11:30～15:30、17:30～23:30
定休日：なし

東谷山の北側を流れる庄内川対岸のお店です。
軽い口あたりの豚骨スープがベースで、
麺は中太ストレート、あっさりだが味のあるらーめん
です。
季節や流行に合わせて提供される、創作らーめんが充実
しており、チャレンジ精神旺盛。
メニューが豊富でランチサービスもある。

夏も近いことだし、辛そうだけど、勇気を出して
「灼熱なごみらーめん」を頼みました。
唐辛子とラー油で辛いけど、トマトと玉ねぎが
入っていて食べやすい。辛くてもすっきり。
ランチタイムでお客さんがぞくぞくやってきた。

灼熱なごみらーめん

